



お お と り ち ゅ う が っ こ う だ よ

大鳥中学校便り

だいじゅうごう
第十号

学校教育目標 ~豊かな心を育み、社会のかかわりを大切に~
○感じる心(徳) ○考える力(知・体) ○行動する鳥中生(公・関)

横浜市立大鳥中学校
校長 新庄 広

ほんねん おおとりちゅうがっこう きょういくかつどう きょうりよく
本年も大鳥中学校の教育活動にご協力くださり

ありがとうございます

みな ともし むか
皆さまよいお年をお迎えください

いじめ防止市民フォーラム 12月11日(水) 横浜市役所1階アトリウム

前回の学校便りで紹介したように、12月11日(水)に横浜市役所1階アトリウムで行われた「いじめ防止市民フォーラム」に、中区代表として大鳥中学校生徒会会計の3年生岩崎凌馬さんが参加しました。当日は第1部で「いじめをしない自分であるために」を題材としたグループ協議が行われました。小学生から高校生までが1グループとなった協議で岩崎さんはグループをリードする役割を行い、活発な議論を引き出しました。大鳥中学校の生徒会でたくさんの会議をしてきた実績が十分に発揮されたと思います。このフォーラムの内容は、横浜市のHP等で見るができますので、ぜひご覧ください。



年末特別企画

～3年生の生徒会本部役員の方々に「この一年間、生徒会活動を続けてきて思ったこと」を聞きました～

会長 高橋 杏里沙さん

私は約三年間、生徒会の一員として活動をしてきて、人として成長しました。様々な価値観をもつ人達と共に学校を運営していくことは難しいと感じることもありましたが、それ以上に仕事を任せられることへの責任感や、仲間と全校レクなどを成功させた時の達成感、楽しさを深く味わうことができました。生徒会の一員として活動できたことは、私にとっての宝物です。そして、活動を支えてくれた仲間や先生方にとっても感謝しています。この素晴らしい経験をこれからの生活に活かして頑張っていこうと思います。

最後に、「声に出せば、叶います。」すぐに叶う要望ではなかったとしても皆さんの声を次世代に繋いでいくことはできます。ぜひ、「生徒会だけではなく、生徒一人ひとりがこの大鳥中学校をより良くしていくんだ。」という前向きな気持ちで、これからの中学校生活を送ってみてください。今まで本当に、ありがとうございました。

副会長 小川 玲奈さん

私が生徒会本部役員として一年間活動してきて、この活動は学校生活をより充実させることのできるものだと実感しました。初めの頃は部活動との両立に悩み、あまり気持ちが入らない日もありました。ですが、活動を重ねるごとに副会長としての実感が芽生え、本部役員としての活動がとても楽しく感じるようになりました。子ども会議や全校レクの運営などは、生徒会本部に入らなければ体験することのできないとても大切な経験であり、私の思い出です。また評議会や新入生オリエンテーションなど、生徒会本部の活動を通して自分から前に出ることや仲間と協力して頑張ることの楽しさを実感しました。

一年間共に活動をしてくれた生徒会本部役員のみなさん、協力してくれた生徒のみなさん、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。一年間ありがとうございました。



書記 新井 珠実さん

私は一年間、生徒会の書記として活動してきました。生徒会活動を通して私は、何かを変えたり、新たなことを取り入れたりすることは容易ではないということ学びました。例えば、夏季に行ったジャージ登校。私たちの実現したかったことの一つですが、実際に行うまでに様々な話し合いをしました。清潔面は？ルールを守れず学校の統率がなくなってしまうのではないかと話し合いを重ねていくうちに、こういった可能性として考えられるものが沢山出てきました。私は最初、先生の許可が下りればできるのかなぐらいにしか思っていませんでした。しかし、「ジャージ登校」というだけでも、異なる視点や起こりうる可能性を考慮し、対策した上で実際に行ってみようといういくつかの通過点があることに気づきました。学校は誰か一人の場所ではなく、みんなが過ごす場所です。だからこそ、慎重な話し合いの上で行われているのだと学びました。これは実際に、生徒会の一員として、話し合いに参加できたからこそ気づくことができたことだと思います。

今後、高校や社会に出た時も、物事を考える時には、生徒会で培った「先を見通し、多面的な視野をもって考える」ことを大切にしていきます。



会計 岩崎 凌馬さん

僕は生徒会本部役員になって変わったことが二つあります。一つ目は、想像力が豊かになったことです。生徒会活動の中心となっているのは、全校生徒の声であり、それを実現させるのが生徒会だと思っっている中で、僕が思いつかないような発想や考えがあったり、反対に共感できる部分があったりと、色々な考えを聞ける生徒会という立場のお陰で想像力やものの見方が少し変わったのだと思います。二つ目は、責任感をもつようになったことです。生徒会は評議会をはじめ、学校の行事など様々なことを企画したり運営したりするので、生徒会誰か一人が欠けたり、少しでも気持ちのズレが生じたら、全体の迷惑になってしまうことがあります。だから、責任感をもつことの大切さを知りました。

生徒会は行事の進行などをするので、大変な時もあります。ですが、それを達成した時の快感や喜んでいる生徒の顔を見ると、やってよかったなと思える仕事です。ぜひ、学校を引っ張りたい！新しい自分を見つけない！そんな方は生徒会に迷わず立候補することをおすすめします。



大鳥中学校生徒会3年生のみなさん、大鳥中をより良くしようという熱い信念をもった活動、ありがとうございました！